

地域環境課

1 自然公園

当管内は豊かな自然環境に恵まれており、自然公園法に基づき「玄海国定公園」、福岡県立自然公園条例に基づき「太宰府県立自然公園」及び「脊振雷山県立自然公園」が指定されており、特別地域等における工作物の新築をはじめとした各種行為について、許可や届出の審査及び指導等を行っている。

管内の自然公園（平成27年度末現在）

| 自然公園名 | 面積 (ha) | 保護規制区分面積(ha) | | | 指定年月日 |
|----------------|------------|--------------|-------|--------|------------|
| | | 特別保護 地区 | 特別地域 | 普通地域 | |
| 玄海 国定公園 | 5,870 | | 5,785 | 85 | 昭和31年6月1日 |
| 太宰府 県立自然公園 | 16,568 | — | 1,656 | 14,912 | 昭和25年5月13日 |
| 脊振雷山 県立自然公園 | 8,171 | — | 1,301 | 6,870 | 昭和40年9月14日 |

許可・届出件数（平成27年度）

| 自然公園名 | 許可件数 | 届出件数 |
|------------|------|------|
| 玄海国定公園 | 13 | 2 |
| 太宰府県立自然公園 | 2 | 2 |
| 脊振雷山県立自然公園 | 2 | 1 |
| 計 | 17 | 5 |

2 温泉

当管内は温泉資源に恵まれており、特に二日市温泉（筑紫野市）は万葉集にも歌われた歴史ある温泉として知られており、温泉の保護や利用の適正を図るため、土地の掘削、動力装置の設置、温泉の採取等の申請に基づく許可や届出の審査及び指導等を行っている。

(1) 管内の温泉施設数（平成27年度末現在）

| 市町名 | 温泉地名 | 源泉総数 (A+B) | 源泉の利用状況 | | 主たる泉質名 |
|------|------|---------------|------------|-------------|-----------|
| | | | (A) 利用数 | (B) 未利用数 | |
| 筑紫野市 | 二日市 | 37 | 13 | 24 | アルカリ性単純泉 |
| 春日市 | — | 0 | 0 | 0 | — |
| 大野城市 | — | 2 | 2 | 0 | 中性冷鉱泉 |
| 太宰府市 | — | 1 | 1 | 0 | アルカリ性単純泉 |
| 糸島市 | — | 10 | 10 | 0 | 単純弱放射能冷鉱泉 |
| 那珂川町 | — | 6 | 6 | 0 | アルカリ性単純泉 |
| 計 | | 56 | 32 | 24 | |

(2) 温泉における許可申請の状況 (平成27年度)

| 温泉掘削 | 増掘 | 動力装置 | 温泉利用 | |
|------|----|------|------|----|
| | | | 浴用 | 飲用 |
| 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |

3 浄化槽整備

浄化槽は、し尿及び雑排水を浄化するものであるが、法によりその設置や保守点検等に関する規定が設けられ、公共用水域等の水質の保全を確保することによって、生活環境の保全等を図ることとなっている。

このため、浄化槽の設置についての届出の審査及び受理、指導等を行っている。

筑紫地区においては下水道が普及していることもあり、当管内の浄化槽設置の大部分は糸島地区のものである。

浄化槽設置状況

| 市町名 | 種別 | 平成26年度末 | 平成27年度末 |
|------|----|---------|---------|
| 筑紫野市 | 合併 | 401 | 395 |
| | 単独 | 1,279 | 1,279 |
| 春日市 | 合併 | 66 | 65 |
| | 単独 | 106 | 104 |
| 大野城市 | 合併 | 52 | 52 |
| | 単独 | 119 | 117 |
| 太宰府市 | 合併 | 667 | 669 |
| | 単独 | 235 | 235 |
| 糸島市 | 合併 | 6,314 | 6,430 |
| | 単独 | 438 | 428 |
| 那珂川町 | 合併 | 222 | 229 |
| | 単独 | 441 | 441 |
| 合併計 | | 7,722 | 7,840 |
| 単独計 | | 2,618 | 2,604 |
| 総計 | | 10,340 | 10,444 |

4 鳥獣保護

当事務所では、特に保護を必要とする希少鳥獣や人為的な原因で傷ついた野生鳥獣の保護を図るための事業等（傷病野生鳥獣の保護、愛鳥週間行事、野生鳥獣保護モデル校事業等）を実施している。平成27年度の傷病野生鳥獣の保護件数は2件で、傷病野生鳥獣医療所（委託先：福岡市動物園）に搬送した。

また、福岡県高病原性鳥インフルエンザ（野鳥関係）対応技術マニュアルに基づき死亡野鳥等調査を実施している。平成27年度の当所管内での死亡野鳥の検査実績はない。

5 啓発事業

地域における地球温暖化の防止、資源・エネルギーの循環活用、生物多様性の保全・再生等の施策や環境教育を推進するため、地域特性に応じた効果的な施策を検討し様々な課題の解決を図るとともに、地域の活動の担い手を育成することを目的として、筑紫・糸島地区地域環境協議会を設置し事業を行っている。

平成27年度は、小学生等を対象とした『水辺教室』（河川に棲む水生生物の種類を調べ水質の判定を行い、家庭排水等が河川に及ぼす影響や生物多様性等について学習する課外授業）を実施した。また、地球温暖化対策事業として、街頭キャンペーン等を実施し広く県民に対し省エネ・節電に取り組むよう呼びかけた。

自然共生事業としては、太宰府市及び筑紫野市において自然体験活動を中心とした講座を開催した。

| 事業名 | 実施時期 | 開催場所 | 対象者 |
|---------------|--------------------|--------------------------|-------------------------|
| 水辺教室 | H27.5月 ～H27.11月 | 那珂川、御笠川、山口川 | 管内小学校等 7校（626人） |
| 県政出前講座 | H27.5月 | 糸島市 | 地球温暖化対策について 1団体（22人） |
| ふくおかエコチェックシート | H27.7月 ～H27.8月 | | 管内小学校 5校（339人） |
| 自然観察会 | H27.7月 H27.11月 | 太宰府市（政庁跡など） 筑紫野市(天拝山) | 住民 2回（69人） |